

学校の教育目標

共生・協働・創造

〔東中校区〕

小中連携目標

〔川東中校区〕

えがおで あいさつ

9年間を通して、体験活動を重視し
たくましい児童・生徒を育てます。



めざす学校像

明るく活気に満ちた学校
ぬくもりのある学校
地域とともにある学校

めざす児童像

自分を大切にし、自分と同じ
ように友達を大切にする子
しなやかさとたくましさのある子
やりぬくことができる子

めざす教師像

子供とともに歩む教師
学び続ける教師
信頼される教師
地域とともにある教師

具体目標 <合言葉>

かしこく

- 個別最適で、協働的な学びを通して、「わかる・できる・楽しい」授業の実践
- 読書活動の充実
- 「自主学習のすすめ」の励行
- 朝の学習タイムの充実

あたたかく

- えがおであいさつ
- なかよし班活動
- 心をつなぐボイスシャワーの実践
- 人のことを大切にして聞く
～共に生きる・ESDの推進～

たくましく

- 基本的生活習慣の確立
- 「早寝 早起き 朝ごはん」の励行
- レッツチャレンジ浮島
- 食育の推進
- 自己決定の場の設定

浮島小コミュニティ・スクール

連携

地域とともにある学校

協働

学校だより
ホームページ

家庭

家庭はすべての教育の基本
「早寝 早起き 朝ごはん」の習慣化
自主学習の習慣化
PTA活動での連携・協働
教育相談・支援会議等の活用

地域

学校運営協議会での連携・協働
人・自然・文化との豊かなふれあい
公民館や地域ボランティアとの連携
運動会、文化祭、防災訓練等の共催

自己評価

学校関係者評価

重点目標	1 地域とともにある学校づくり (1) 地域と共に児童を育てるため、コミュニティ・スクールによる学校運営を推進する。 (2) 学校の考えやその背景などを含め積極的な情報発信に努め、保護者や地域、関係諸機関等との連携を深め、信頼される学校づくりに努める。 2 教職員の資質・能力の向上 (1) 「教師は子どもにとって最大の教育環境である。」をモットーに、教職員の専門的知識・能力や倫理観、社会人としての資質向上に努める。 (2) 「教師の学びと子供の学びは相似形」という言葉の通り、各種研修を充実させ、児童理解や個別最適な学び・協働的な学びを目指した研修等を深め、指導・支援内容の充実に努める。 (3) 「スクラップ＆ビルド」で、校内体制や職場環境を点検・改善し、組織の活性化及び精選効率化に努める。 3 確かな学力の定着と向上 (1) 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、児童が学ぶ楽しさを実感できる授業づくりに努める。 (2) 体験的な学習や問題解決的な学習の充実に努め、思考力や判断力、表現力などの能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養う。 (3) 学校図書館の充実と家読（うちどく）などを含めた読書指導の推進に取り組む。 4 特別支援教育の推進 (1) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の実践と、合理的配慮に努める。 (2) どの児童にも分かりやすく、参加しやすいユニバーサルデザインの授業に努める。 (3) 特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な指導体制づくりと、教職員の協働体制の確立に努める。 5 道徳教育及び人権・同和教育の充実 (1) いじめやあらゆる差別に対し、気づき、考え、正しく行動する児童を育成する。 (2) 児童が道徳的価値について多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えをより深められるように、「考え議論する道徳」の実践を進めていく。 (3) 全教育活動を通して人権を尊重し、差別・いじめを許さない実践力の育成を図る。 6 生徒指導の充実と児童の健全育成 (1) 発達支持的及び積極的・組織的な生徒指導により、いじめ・不登校等の未然防止、及び早期発見、早期解決に努める。 (2) 教育相談体制を充実させ、カウンセリングマインド等による心に響く生徒指導を展開する。 (3) 学校（小中連携）・家庭・地域等と連携し、大人が豊かにつながり児童の健全育成に努める。 7 安全・安心な学校づくり（コミュニティ・スクール、E S Dの推進） (1) 「共に生きる」をテーマに、環境・人権・防災教育を推進する。 (2) 家庭や地域と連携・協力し、安全の確保に努める。 (3) 自他の生命を尊重し、自ら安全な生活を営む資質・能力を育成する。
管理運営	1 人的管理 (1) 服務規律の厳守と相互信頼に支えられた即動・協働体制の確立 (2) 子どもと向き合う時間を確保するための業務改善の推進 (3) 危機管理の徹底と組織力・チーム力の向上 2 物的管理 (1) 施設・設備・備品等の適正管理 (2) 潜在的危険個所の早期発見と除去、事故防止・防災・防犯の徹底 (3) 機能的で潤いのある、学習に生きる教育環境整備の推進 3 事務管理 (1) 校務分掌の適正化とフォローアップ体制の強化 (2) 校務処理の適正化と会計経理の厳正化 (3) 情報資産管理についての意識改革と個人情報の厳正管理の徹底
本校教育の特色	昭和 25 年に高津小学校から分離、開校し、今年で 76 年目を迎える。今年度も、これまで培ってきた本校教育のよさを基盤にしながら、特別支援教育の視点を取り入れた学校経営を推進するために、学校の教育目標を「共生・協働・創造」とし、時代の変化に対応しながら、質の高い教育を創造していくために、地域とともにある学校づくりに努める。そして、地域に根ざし、より開かれた学校づくりを推進し、ふるさとに学びふるさとを愛する心を児童に育んでいく。